

補助金を活用した事業案（案C）の詳細について

# カーフリープロジェクト知床（案）

Car Free Project Shiretoko

# Concept

## 知床本来の魅力を楽しむ観光デザイン

- シャトルバスを活用した野生動物観光の提案による世界遺産ならではの質の高い観光コンテンツ作りを目指す

## アフターコロナの観光利用のモデルづくり

- マイカー規制による利用のコントロールから、移動そのものを魅力あるツアーコンテンツの一部とする事業モデルへの転換を図る

## 地域の事業者等支援

- 新型コロナウイルスにより大きく影響を受けている地域事業者と連携して事業を実施する



結果的に

地域の雇用確保、混雑対策、ヒグマと人の軋轢防止、自然環境の保全に

# 8月

## 従来通りのマイカー規制

【期 間】 8月のお盆を中心とした7日間

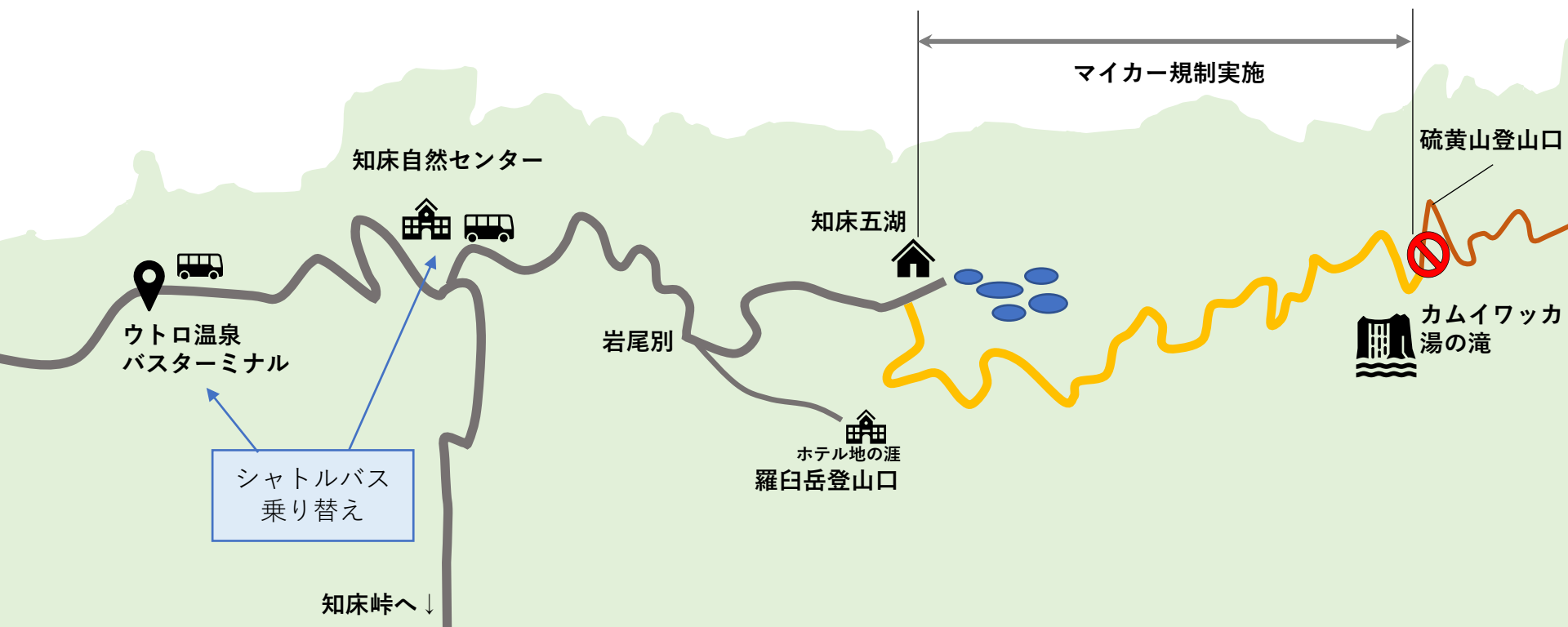
【規制区間】 知床五湖ゲート～カムイワッカ（終日）

【代替交通】 シャトルバス：ウトロ～自然センター～五湖～カムイワッカ

（一部斜里バスターミナルからの路線バスが接続）

【運 賃】 有料（ただし減免措置あり）

- ・ 知床五湖まではマイカーでの通行も可能
- ・ 通常のマイカー規制時と同様の運用を期間短縮して行う



【除外車両】  
[五湖～カムイワッカ] 徒歩/自転車/許可車両

# 9月

## カーフリーデー in 知床 (仮)

【期 間】 3日間：4連休終了後の連続した3日間

【規制区間】 ホロベツゲート～カムイワッカ、岩尾別温泉道路

【代替交通】

シャトルバス：ウトロ～自然センター～知床五湖～カムイワッカ

宿泊者・登山者向けマイクロバス：ウトロ～自然センター～岩尾別～岩尾別温泉

【運 賃】 シャトルバス・マイクロバスともに **無料**

- バスの運行とアクティビティの提案を組み合わせた誘客イベントを実施する
- イベント実施のため、自然センター以奥のマイカーの乗り入れを規制する



【除外車両】

[ホロベツ～五湖] バス/観光バス等/タクシー/徒歩/自転車/許可車両/身体障害者手帳等の所持者の車両  
[五湖～カムイワッカ] 徒歩/自転車/許可車両

# カーフリーデー in 知床 (仮)

- 知床本来の自然を体験
- 規制ではなくサービスへ
- クマとビジターの軋轢緩和
- 多様なアクティビティが活発に行えるフィールドに



## カーフリーデーとは？

「ヨーロッパを中心に毎年9月22日に行われる「カーフリーデー」という社会的イベント。この日、街の中心部では、マイカーを使う代わりに公共交通機関・徒歩・自転車などによって人々は移動する。また、都市の交通・環境問題に関するシンポジウムや展示会が行われる。市民が交通や環境について考える一日となっている。」（国土交通省HPより）また、「カーフリーデーまでの1週間は「モビリティウィーク」と定められており、自転車や公共交通機関の利用、地域環境の改善をテーマにした催しが行われる。」（環境用語集より）

## エコモビリティについて

日本でも各地で行われているほか、自治体や地域では、車以外の移動手段に公共機関だけでなく電動Carタクシーや自転車、e-bike、カヌー、ハイキングなどを活用するエコモビリティに関する取り組みが広がっている（道北、札幌、黒松内町など）。また、グリーンツーリズムの分野ではガソリン車の乗り入れを禁止し、リモートリゾートとして価値を高める取り組みも行われている（イギリス、スイス、ドイツ他）。

# シャトルバス運行

|              | 8月  | 9月          |
|--------------|---|-------------|
| 運行形態※1       | 道路運送法に基づく<br>一般乗合旅客自動車運送事業                      | 運行形態検討中     |
| 運賃           | 認可運賃の範囲で検討<br>(減免措置を検討)                         | 無料          |
| 乗車券の販売<br>拠点 | 斜里バスターミナル<br>ウトロ温泉バスターミナル<br>知床自然センター<br>ホテル地の涯 |             |
| 運行時間         | 20分間隔で運行<br>ウトロ始発： 8：30<br>ウトロ終着： 18：20         | 15~20分間隔で運行 |

※1. シャトルバスの一部は既存の路線バス[知床線]で代替する

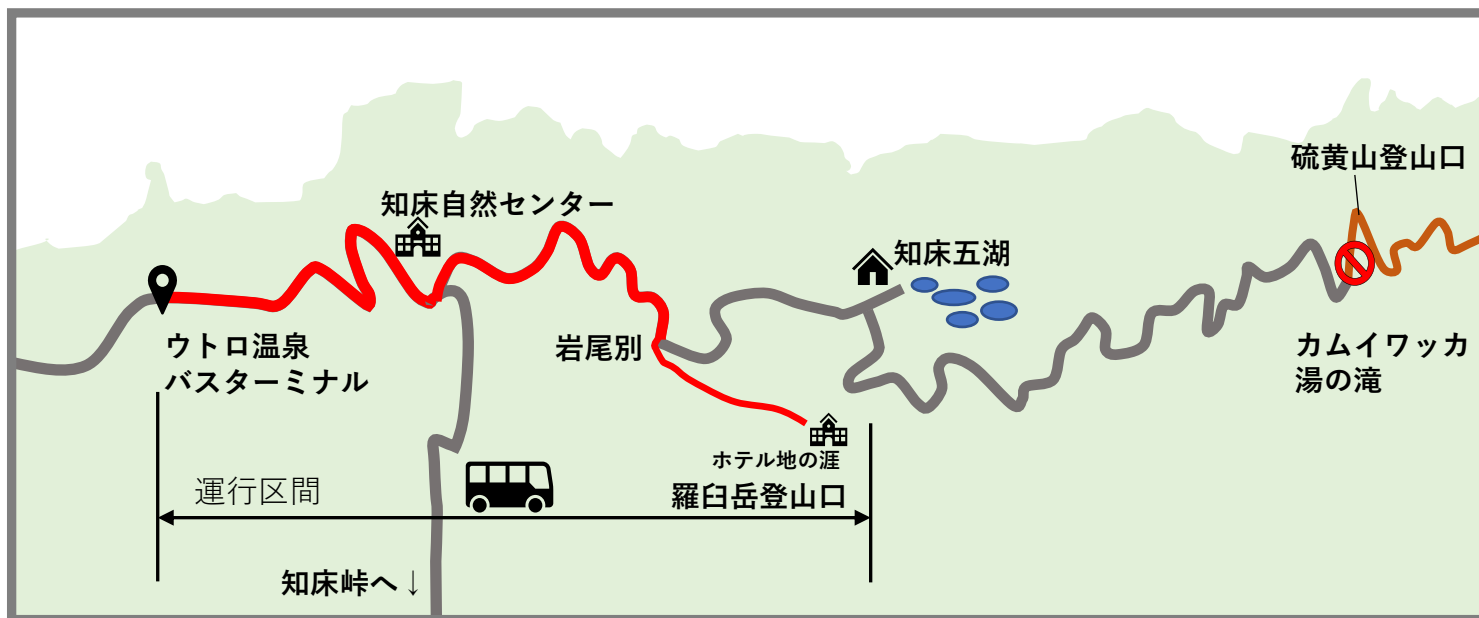
# 登山者・宿泊者向け代替輸送

- 岩尾別地区のホテル、山小屋宿泊者、登山者向けの代替輸送を実施
- スケジュールと区間、車両サイズを検討し、運行する

|        | 8月                    | 9月                   |
|--------|-----------------------|----------------------|
| 運行形態※1 | なし<br>(マイカーでのアクセスが可能) | マイクロバスを運行<br>運行形態検討中 |
| 運賃     | —                     | 無償                   |

※1.代替輸送の運行は協議会から委託する。

【運行区間】 ※運行時間については宿泊施設、ガイド、地元山岳会等と協議の上決定



# コロナウィルス対策

『バス・タクシー業界における感染防止対策ガイドライン（第1版）』に基づき実施する

- シャトルバスは間隔をあけての着席を促す。
- 定期的に消毒、清拭を行う。
- 換気（カムイワッカ区間は設備による換気）を行う。
- 乗車中はマスクの着用を呼びかける。（運転手はマスク着用）
- 発券施設・待合所でのウィルス対策を検討する。
- 第2波による社会情勢の変化があった場合は事業を中止する。

## <参考例>



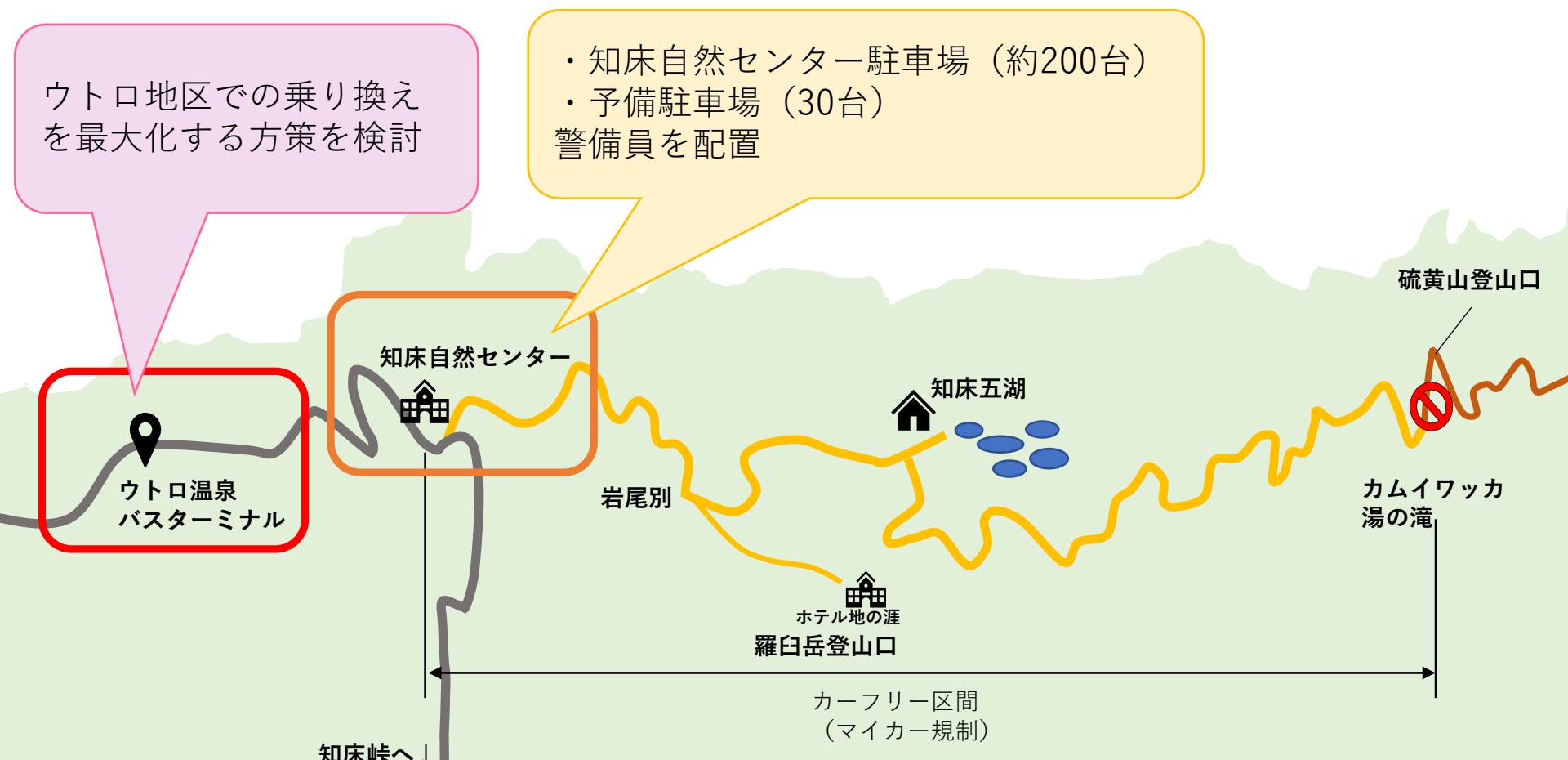


# 管理・調整

- 主要な乗り換え拠点は知床自然センターとするがウトロ地域との連携を検討する
- 各駐車場・ゲートに警備員を配置しスムーズな誘導を行う
- 各拠点との連絡調整や利用状況調査（モニタリング）、トラブル対応等を一元的に管理する

ウトロ地区での乗り換えを最大化する方策を検討

- 知床自然センター駐車場（約200台）
  - 予備駐車場（30台）
- 警備員を配置



知床自然センター

ウトロ温泉  
バスターミナル

岩尾別

知床五湖

ホテル地の涯  
羅白岳登山口

硫黄山登山口

カムイワッカ  
湯の滝

カーフリー区間  
(マイカー規制)

知床岬へ

# 魅力向上

<バス内で配るマップのイメージ>

## <野生動物観光>

- ・ 自然ガイド等によるバス車内解説（ツアーバス等）
- ・ ドライバーにヒグマ情報を提供する仕組み
- ・ 岩尾別のサケマス孵化場との連携を図る

## <その他の施策>地域の事業者との連携

- ・ セルフガイドが可能な観察マップなどの配布
- ・ 自転車、e-bike、ハイキングなどのアクティビティとの連携
- ・ 観察マップや乗車券にクーポン機能を付与し、域内の販売業者などへ誘客を図る
- ・ 自然センターを中心としたホロベツ地区でのサイドイベントの実施



デナリ国立公園  
<http://www.planetpookie.com/2010/08/alaska-denali-national-park.html>



デナリ国立公園  
<https://www.alamy.com/stock-photo-tourist-stop-along-denali-national-park-road-and-view-wildlife-from-outside-75489490.html>



たびらい  
[tabirai.net/sightseeing/column/0001814.aspx](http://tabirai.net/sightseeing/column/0001814.aspx)



奥入瀬エコミュージアム  
<http://oirase-fm.com/notes/ecotourism/>



デナリ国立公園  
<https://www.pursuitcollection.com/careers/alaska/work-in-denali/>



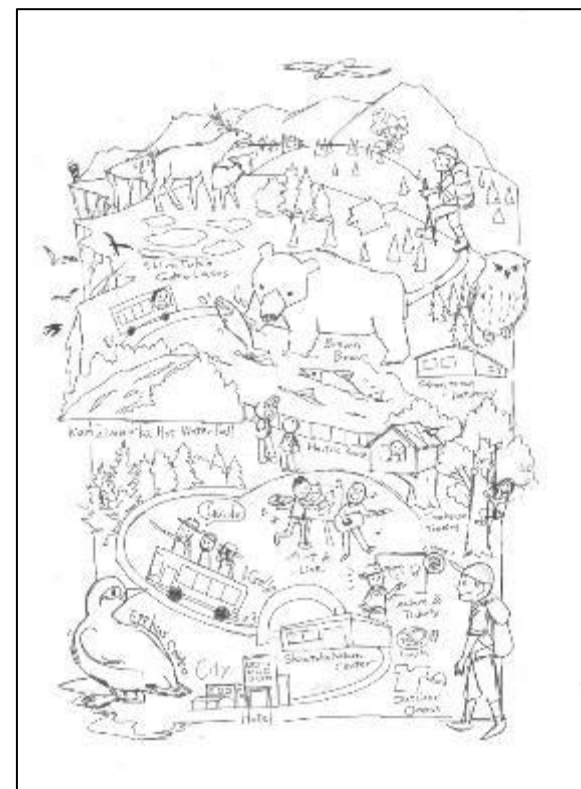
知床自然センター  
<http://center.shiretoko.or.jp/guide/kamuiwakka/>

# 周知広報

- 7月～8月を集中的な広報期間に位置づけ、あらゆるメディア、事業者と連携した周知広報を行う。
- 登山者、宿泊者向けには別途、告知広報を行う。
- ヒグマ対策普及啓発キャンペーンと連動した告知広報を行う。

## 【広報媒体と方法】

|         |                                       |
|---------|---------------------------------------|
| チラシ     | わかりやすく、ビジュアルイズされたチラシを作成。<br>印刷部数 5 万部 |
| ポストカード  | ホテルカウンター、飲食店舗、近隣施設で直前に配布              |
| Web サイト | コアとなるページを作成。観光関係 web サイトへのバナー掲出。      |
| リリース    | プレス関係、山岳団体、観光関係団体                     |
| 事業者     | 域内事業者、近隣施設への直接説明と媒体配布                 |
| 道路沿線    | 告知看板の新規製作と 20 カ所程度の掲出<br>電光掲示板での案内    |



チラシのイメージ

# 検討課題

<車両規制に関する法制度> ・除外車両のあり方

<輸送能力と需給バランス> ・輸送力および駐車容量の検討と検証

<コロナウィルス> ・コロナウィルス感染症対策

<岩尾別枝線の取り扱い> ・登山者や宿泊者に対し現状の利便維持が必要

<周知広報> ・予約ベースの宿泊やツアー等への広報は丁寧に行う必要がある

<魅力向上>

- 野生動物観光の具体的な手法の検討
- ガイド等民間事業の積極的な参画
- 担い手の確保